



# 学校だより



青梅市立東小中学校  
令和3年度 第8号  
11月26日(金)

素晴らしい作品展をありがとう！

諦(あきら)めないで取り組むと成果が出せる

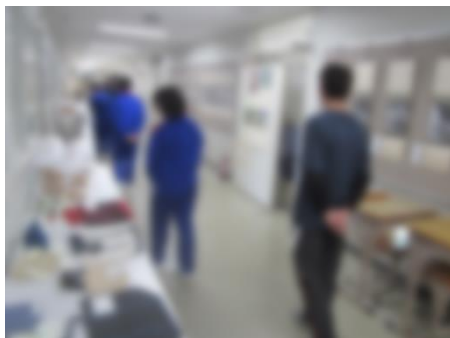
校長 川窪 公夫

10月末から11月当初にかけて、芸術の秋にふさわしい本校自慢の行事である作品展が行われました。残念ながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、小学6年生・中学3年生以外の保護者の皆様には、ご覧いただけませんでした。素晴らしい作品がたくさん展示されました。子ども達は、一つの作品を作り上げるまでに、毎回の授業に真剣に臨んで来ました。途中、上手くいかなかったり、どうしようと悩みながらも諦めずに最後まで作品づくりに取り組みました。同じ材料を使い、同じテーマのものを作ってもそれぞれの作品には、子ども達の個性が表れていました。また、一つ一つの作品に付けられた子ども達の感想文からは、楽しいコメントや苦労話をはじめ、努力の足跡を読み取ることができました。高等部の皆さんの作品も素晴らしいものばかりでした。このような文化的な活動は「人間がより人間らしく成長するための栄養」だと思います。本校の作品展も子ども達そして、作品を鑑賞してくださる人達の心が豊かになることを願う行事です。学園の先生方からもたくさんのお褒めの言葉をいただきました。これからも授業に集中して、より良い作品づくりに励んでくれると期待しています。



## <子ども達の作品づくりの感想から(抜粋=一部を抜き出すこと)>

- 墨はにじみやすくすごく扱いが難しかったけど、隅取りはすごく上手に出来ました。濃い墨を使ったので、失敗しないように気を付けました。背景の墨のにじみ方も墨の魅力だと思います。作者の絵のすごさが分かりました。〔中学3年生 美術 水墨画〕
- 工夫したところは、“ころん”とした形で両手で収まる暖かい見た目を意識しました。一見春のイメージがあるような色ですが、私は秋をイメージしました。桜の模様の理由は、小春日和は秋・冬が春みたい暖かい理由でつけています。〔中学2年生 美術 陶芸〕
- 初めて、ひも通しをやって難しかったです。ミシンの線が曲がってしまうので、工夫しました。〔中学1年生 家庭科 巾着袋〕
- 笑っているシーサーとカッコよく決め顔をしているシーサーを作りました。上から見るとカッコいいです。また、鼻を立体的に表現しました。〔小学生 図工 粘土細工〕



## 福祉体験活動・・・手話にチャレンジ

11月8日、青梅市  
聴覚障害者協会と青

梅市手話サークルの先生方7名をお迎えして手話について学びました。手話は、私たちが話す音声言語と同じで視覚言語と呼ばれています。今回の学習も体育館と学園ホールの2か所に分かれて行いました。講師の先生方からは、自分の名前や数字の表し方をはじめ、運動会や作品展などの学校行事や季節の行事であるク



リスマスや節分など、更に各種スポーツを手話ではどのように表現するのかを教えてもらいました。子ども達は、真面目な態度で話を聞き、先生に習って手話に取り組んでいました。初めて体験する子どもが多く、最初は上手く表現できませんでしたが、だんだん慣れて来てスムーズにチャレンジできる子どもが増えました。今回の手話による福祉体験を通して、子ども達の心に他者を思いやることの大切さが育まれたと思います。

### <子ども達の感想(抜粋＝一部を抜き出すこと)>

- 表情や口の動きなどが重要になると分かって、今の社会ではマスクをしているのが普通になっているので、日常生活で大変なことがあるだろうなと思いました。
- 手話は、人と人を繋(つな)ぐとても感動させるものでした。会話をすることや人と関わることなど健常者と何も変わらないなと思いました。
- もともと興味を持っていたので、とても楽しかったし、いい経験になりました。手話は、一つ一つの動作に意味があって深いなと思いました。
- 耳の聞こえない人のデフリンピックがあるのを初めて知りました。2025年に東京でやったら見てみたいと思いました。
- 手話で歌を歌ったりできることを知っていたので、寮にある手話ソングの本を読んでみようと思いました。

## 小学生 → 実りの秋 = 美味しく焼きもをいただきました

11月5日(金)小学校の農園である「おしゃれ村」で秋晴れのもと、先月、収穫したサツマイモ(品種：紅あづま)を炭火焼き芋にして、みんなで美味しくいただきました。11月は、お米や野菜・じゃがいもなどの収穫を終え一段落する時期です。子ども達は、焼き芋を食べる前、「おしゃれ村」に感謝の気持ちを込めて、一生けん命に雑草取りを行いました。働いた後に、ほお張るホクホクのさつま芋にどの子も自然と笑顔があふれていました。アルミホイルをはがし、キッチンペーパーを取り除くと出て来るお芋に歓声(かんせい)が上がりました。自分達で育てたさつま芋を自分達の農園で食べられたことは、自然の恵みを感じる貴重な体験になったと思います。これからも「おしゃれ村」の土地を大切に、稲作や野菜作りを通して、私たちの命をつなぐ食である農作物を育て、豊かな心を育みたいと思います。



雑草取り



美味しくいただいています